



病棟名：手術室・中央滅菌材料室

手術室数：12室

スタッフ人数：看護師長 1名・副看護師長 2名・看護師 32名
アシスタント 3名・受付事務 3名
男性看護師：5名

部署の雰囲気：

手術室は医師・看護師だけでなく、臨床工学技士・放射線技師・薬剤師等様々な職種が情報共有を行いながら働いています。

すべての患者さんが安心・安全に手術を受けられるようにチーム一丸となって、一人一人が責任を持って全ての手術に臨んでいます。年齢層も幅広くアットホームな雰囲気、分からないことがあれば相談しやすいです。男性看護師も多く、男女それぞれの目線で物事を捉えることができるのでより個別性のある看護を提供できます。

部署の自慢できること：

他職種との関わりが多いことや手術看護認定看護師も所属していることから、専門性の高い知識や技術を身につけることができます。術前に患者さんの情報収集を行い、ラテックスフリーの物品での対応をおこなうことや、2016年からはWHO手術安全チェックリストを導入し確実に手術を行っています。

入院患者さんに対しては術前術後訪問実施率の向上に努めています。

また一部の手術では、入院前の患者さんに対して術前看護外来を実施しています。外来から患者さんと関わりを持つことで少しでも手術に対する不安の軽減ができるように取り組んでいます。

スタッフからのメッセージ：

手術室というと専門的であったり、医師の介助をする器械だし看護師のイメージが強いかもしれませんが、患者さんが安心して手術を受けられるようにサポートを行う外回り看護師の役割も重要です。

私たちは手術室という非日常の環境で、患者さんの代弁者として支えられるように仕事をしています。手術看護に興味のある方、是非一緒に働きましょう！



師長(管理者)からのメッセージ：葉佐真紀子

大事にしていること：相手の立場に立って考える

手術室は3階フロアの南側にあり、年間約5500件の手術を実施しています。多くの手術は予定された手術ですが、当院は三次救急病院で24時間365日緊急手術に対応できるようになっているため、年間約800件の緊急手術も実施しています。スタッフは看護師32名、アシスタント3名、事務職員3名、臨床工学技師1名、放射線技師1名と多職種で構成されています。

県の基幹病院として、高度・特殊医療に重点的に取り組んでいます。ロボット支援下手術や、ハイブリッドオペレーションシステムを使用した TAVI(経カテーテル大動脈弁置換術)・脊椎手術など、高度・低侵襲な手術が可能となっています。毎年新しい手術が追加され、スタッフはそれぞれの診療科の医師と共に手術毎にチームを編成し、手術を受けられる患者さんに最良の医療を提供できるよう、日々研鑽しています。

高度な医療を確実・安全に提供するために、2016年からWHO手術安全チェックリストを導入し、看護師だけでなく、医師・麻酔科医師・臨床工学士・放射線技師・薬剤師等多職種が情報を共有しています。

また、2021年3月に開設された患者サポートセンターでは、安心して手術をうけていただくために、入院前に手術室看護師による説明をおこなっています。現在は一部の診療科に限定されていますが順次拡大予定であり、今まで以上に安心して安全な周術期医療を目指しています。

私達手術室看護師は、手術という非日常の出来事に直面した患者さんに最も近い存在として、患者さんのためにできることは何かを考え続け、患者さんの思いに寄り添いながら、誠実で確実な看護を提供できるよう日々頑張っています。ぜひ、一緒に手術室で働きましょう。

